

### 1. Course Description

1・2年次に学修した解剖学を総復習し、国家試験に対応できる能力を身につけることを目標とします。

解剖学特別講義は解剖学を不得意とする学生のための授業です。

授業は、演習問題と解説講義にておこないます。

国家試験は1、2年次に使用した解剖学の教科書を中心に出题されます。国家試験過去問題など演習問題に取り組み、

国家試験出題傾向を修得すると共に弱点を洗いだし学びます。教科書の内容を総復習し、確実に理解します。国家試験出題

率の高い部分や弱点については、その場で学ぶなど、国家試験に向けできる限り漏れのない解剖学の総括を行います。また、

授業時の質問に対してグループディスカッションを行い答えてもらいます。

この授業ではDPIに関する知識を修得します。

### 2. Course Objectives

- ① 運動器の基本問題を解決することができる。
- ② 循環器の基本問題を解決することができる。
- ③ 内臓の基本問題を解決することができる。
- ④ 内分泌器の基本問題を解決することができる。
- ⑤ 神経系の基本問題を解決することができる。
- ⑥ 感覚器の基本問題を解決することができる。

### 3. Grading Policy

全範囲の定期試験(90%)に平常点(講義内演習等)(10%)を加え、総合的に評価して最終成績とします。

### 4. Textbook and Reference

#### Textbook

岸清、石塚寛編 全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学』 2版 医歯薬出版株式会社

### 5. Requirements(Assignments)

予備学習として該当項目の教科書の復習を行ない、特に理解度の低い項目をチェックしておくようにして下さい。

おおよそ予習に1.5時間、課題と問題解答の復習に1.5時間を見込んでいます。

### 6. Note

必ず手書きのノートを作成してください。

### 7. Schedule

- [1] 脊 柱  
準備学修:教科書(p28~33)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [2] 胸 郭  
準備学修:教科書(p33~36)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [3] 上肢骨と関節  
準備学修:教科書(p36~46)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [4] 下肢骨と関節  
準備学修:教科書(p46~59)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [5] 頭 蓋  
準備学修:教科書(p59~70)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [6] 頭部の筋  
準備学修:教科書(p76~78)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [7] 胸部の筋  
準備学修:教科書(p81~84)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [8] 頸部の筋  
準備学修:教科書(p78~81)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [9] 腹部の筋  
準備学修:教科書(p85~88,201)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [10] 背部の筋  
準備学修:教科書(p88~92)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [11] 上肢の筋 1:上肢帯の筋、上腕の筋  
準備学修:教科書(p92~97)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [12] 上肢の筋 2:前腕の筋、手の筋  
準備学修:教科書(p97~107)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [13] 下肢の筋 1:下肢帯の筋、大腿の筋  
準備学修:教科書(p107~114)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [14] 下肢の筋 2:下腿の筋、足の筋  
準備学修:教科書(p114~122)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [15] テスト、まとめ  
準備学修:全項目のまとめを行い、疑問点を解決するように取り組んでください。